

平成25年住宅・土地統計調査の結果表に関する主な要望について

1 住宅タイプ（OLDK等）に係る集計

意見

一般的な結果利用の観点からは「台所」を調査するよりも「OLDK等」といった形で調査するほうが望ましいため。

考え方

台所に対応した住宅タイプを調査票上に明記し、居住室数とのクロスにより住宅タイプを集計する。
※ 独立の台所(K)、食事室兼用(DK)、食事室・居間兼用(LDK)

2 家族類型に係る集計

意見

現行の家族類型では、「子と親夫婦」、「子と片親」の世帯において、「老親と無配偶の子」、「両親と子」の区別ができないため。

考え方

家族類型については、国勢調査と同じ区分で集計しているところであるが、例えば「夫婦と子供から成る世帯」の内訳として「夫婦のいずれかが家計主」と「子供が家計主」の区分を作成し集計することも一案(例参照)。

3 分譲マンションに係る集計

意見

分譲マンションの管理の適正化や再生・建替え促進が大きな課題となっている中で、もともと分譲マンションとして供給された既存分譲マンションの棟数・戸数を把握する必要があるため。

考え方

建て方(共同住宅)×階数(〇階以上)×構造(鉄筋・鉄骨コンクリート又は鉄骨造)×所有の関係(持ち家)により集計することも一案。

4 空き家に係る集計

意見

所有関係別の空き家属性を把握する必要があるため。

考え方

空き家(賃貸用の住宅)のうち、一戸建については空き家に関する情報(所有関係)を把握することが困難。ただし、共同住宅と長屋建(全体の94%)については、当該住宅の棟内の調査対象となった住宅に居住している世帯の調査票情報から、当該情報を把握するという方法も考えられるため、調査票情報の二次利用により対応することも一案。

例 家族類型イメージ（案）

新

	総数	親族世帯					
		総数	核家族世帯				
			総数	夫婦のみの世帯	夫婦と子供から成る世帯	男親と子供から成る世帯	女親と子供から成る世帯
		夫婦のいずれかが家計主	子供が家計主	男親が家計主	子供が家計主	女親が家計主	子供が家計主

旧

	総数	親族世帯					
		総数	核家族世帯				
			総数	夫婦のみの世帯	夫婦と子供から成る世帯	男親と子供から成る世帯	女親と子供から成る世帯